

吹田市公共交通維持・改善計画 R6年度 主要事業成果報告

課題、基本理念、基本方針を踏まえ、10の事業を推進

基本理念

いまある公共交通を守り、多様な手段と連携し、
みんなで支え未来へつなぐ公共交通

課 題	基 本 方 針	事 業
① 利便性向上によるバスの利用促進	基本方針1 公共交通サービスの維持・充実とPRによる利用促進	事業1 公共交通サービスの維持・向上
② 高齢者等のモビリティの確保		事業2 運行情報の提供
③ 都市・地域拠点の機能向上	基本方針2 市民・利用者に寄り添う利便性の高い公共交通ネットワークの形成	事業3 利用サービスの提案
④ 公共交通に関する情報提供の充実		事業4 安全な公共交通事業の推進
⑤ 交通ICTの活用	基本方針3 共に支え、将来に向けた持続可能な仕組みづくり	事業5 バス路線の見直し
		事業6 交通結節点の機能向上
		事業7 地域コミュニティ交通の創出
		事業8 公共交通の魅力の発信
		事業9 担い手の確保
		事業10 次世代交通システムの積極導入

○令和6年度に実施した主要な事業

【事業1：公共交通サービスの維持・向上】

- ・ ノンステップバス車両導入
- ・ ユニバーサルデザインタクシー購入補助
- ・ 鉄道駅舎のバリアフリー化の推進
- ・ バス停環境の改善（バス停上屋、ベンチ設置）

【事業2：運行情報の提供】

- ・ 公共交通マップの配布
- ・ すいすいバス車内でのデジタルサイネージ運用

【事業3：利用サービスの提案】

- ・ 高齢者自動車運転免許証の返納者向けサービス
- ・ 学生（小・中学生）に向けた運賃補助
- ・ 利用サービスの広報

【事業5：バス路線の見直し】

- ・ すいすいバスだけのルート本格運行の開始

【事業6：交通結節点の機能向上】

- ・ 相互乗換ルートのバリアフリー化の推進
- ・ シェアサイクルの拡充
- ・ 自転車駐車場の整備推進

【事業7：地域コミュニティ交通の創出】

- ・ 地域主体の交通導入ガイドライン策定

【事業8：公共交通の魅力の発信】

- ・ 学校教育モビリティマネジメント

基本方針		事業	
基本方針1	公共交通サービスの維持・充実とPRによる利用促進	事業1	公共交通サービスの維持・向上
		事業2	運行情報の提供
		事業3	利用サービスの提案
		事業4	安全な公共交通事業の推進
基本方針2	市民・利用者に寄り添う利便性の高い公共交通ネットワークの形成	事業5	バス路線の見直し
		事業6	交通結節点の機能向上
		事業7	地域コミュニティ交通の創出
基本方針3	共に支え、将来に向けた持続可能な仕組みづくり	事業8	公共交通の魅力の発信
		事業9	担い手の確保
		事業10	次世代交通システムの積極導入

【事業1：公共交通サービスの維持・向上】

だれもが快適で利用しやすい安全・安心に利用できる交通環境の整備を図るため、以下の事業を実施。

ノンステップバス車両導入	阪急バス(株)		近鉄バス(株)	
	R5	R6	R5	R6
台数（吹田市域配置車両）	80	77	52	53
ノンステップバス	75	73	51	51
ワンステップバス	5	4	1	2
ノンステップバス導入率（％）	93.6	94.8	98	96

ユニバーサルデザインタクシー普及促進

国の認定のユニバーサルデザインタクシー車両に上限30万補助を実施し普及促進に取り組むものです。補助実施台数23台



鉄道駅舎のバリアフリー化

JR吹田駅可動式ホーム柵 基本設計完了。令和7年度も事業を継続します。

【事業1：公共交通サービスの維持・向上】

バス停環境の改善

吹田市バス停利用環境改善に関する補助金事業

令和5年度	令和6年度
ベンチ設置数：4か所	ベンチ設置数：4か所
JR岸辺駅北口（③のりば）	吹田市役所前（①のりば）
佐竹台6丁目（西行）	吹田市役所前（②のりば）
五月が丘（西行）	吹田市役所前（③のりば）
山田市民体育館前（東行）	吹田市役所前（④のりば）

バス停上屋ベンチ設置事業

上屋・ベンチ	ベンチのみ
紫金山公園前（東行）	末広町（東行）
南小学校前（西行）	大曽根（西行）
五月が丘西（西行）	吹田東小学校前（東行）
	吹東町（西行）



ベンチ補助事業完成写真



バス停上屋ベンチ設置事業完成写真

【事業2：運行情報の提供】

多様な媒体を通じて運行情報等を提供し、満足度を高めるため、以下の事業を実施。

公共交通マップの配布実績

転入者や希望者を対象に配布。
毎年印刷製本。

令和5年度	令和6年度 (2/25時点)
13,655 部	13,249 部



すいすいバス車内でのデジタルサイネージの運用

デジタルサイネージ5台

(ひまわり・あおばルート3台、たけのこルート2台)

【事業3：利用サービスの提案】

高齢者や学生に向け利用サービスを提案し、公共交通の利用促進を図るため、以下の事業を実施。

高齢者自動車運転免許証の返納者向けサービス

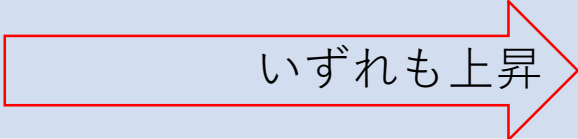
吹田市在住の75歳以上の運転免許所持者で、令和4年4月1日以降に有効免許を自主返納（全部返納）した方の公共交通機関利用に係る費用を上限6,000円補助する事業。

令和5年度（2023年度）	令和6年度（令和7年3月6日時点）
申請数 366件	365件

学生（小・中学生）に向けた運賃補助

利用促進施策として、市立小・中学生にバスの無料乗車券を2枚／人配布し、利用された分の運賃を補助する事業。将来需要の拡大、利用促進を図る。

令和5年度7月21日～1月8日	令和6年度7月20日～1月7日
小学生（5,500枚使用、配布数：43,260枚）	小学生（5,554枚使用、配布数：42,844枚）
中学生（1,384枚使用、配布数：18,496枚）	中学生（1,765枚使用、配布数：18,606枚）
配布枚数に対する使用枚数の割合 小学生：12.7% 中学生：7.5% 全体：11.1%	配布枚数に対する使用枚数の割合 小学生：13.0% 中学生：9.5% 全体：11.7%

 いずれも上昇

【事業3：利用サービスの提案】

利用促進のキャンペーン案内

おでかけを通じてバスの利用を促進するようなキャンペーンを実施。市HPでも広報を実施。



2024年3月19日
阪急バス株式会社

NEWS RELEASE

阪急バス 2024 年春のわくわくおでかけキャンペーン

3月23日から「バス停フォトラリー！」を実施します

- ・バス停をスタンプラリーのスタンプ台に見立てた新企画！
- ・対象バス停 50 か所で当社 IC カード「hanica」を使って降りるとプレゼントのチャンス
- ・3月23日（土）～5月6日（月・休）のご利用が対象（ご応募は5月15日まで）
- ・ラリーした（降りた）バス停の数が増えるとプレゼントもグレードアップ

阪急バス株式会社では、2024年3月23日（土）から5月6日（月・休）の期間で、当社運行エリアの対象バス停のご利用に応じて、ご応募により抽選でプレゼントが当たるキャンペーン企画「バス停フォトラリー！」を実施します。

スタンプラリーのように、おでかけスポット近くのバス停（対象 50 か所）を当社 IC カード hanica（ハニカ）でラリーする企画となっており、降りたバス停と hanica の写真を応募フォームに送信、抽選で最大 100 名さまにギフトカードや百貨店商品券が当たります。

そして、ラリーしたバス停の数に応じてプレゼントがグレードアップする、どんどんバスでおでかけしたくなる春休みからゴールデンウィークにかけての企画です。



「バス停フォトラリー！」の概要

◆内容

当社沿線のおでかけスポット近くのバス停 50 ヶ所を「ポイントバス停」(別添1)として、当社 IC カード hanica を使ってポイントバス停で降りていただいた場合、バス停そのものと hanica の写った写真 (判定例: 別添2) を応募フォームより送信いただくことで、抽選でギフトカードや百貨店商品券が当たる企画です。

多くのおでかけスポット (ポイントバス停) をラリーいただければ、その数に応じてプレゼントがグレードアップします！



2024年7月17日
阪急バス株式会社

NEWS RELEASE

～ 阪急バスに乗って夏を楽しもう！～

7/20～8/31 夏休み期間 限定企画

「夏バス わくわくキャンペーン 2024」を実施します

阪急バス株式会社では、昨年に引き続き、夏休み期間にご家族・ご友人そろって阪急バスでのお出かけを楽しんでいただけるキャンペーンを実施いたします。

今年は、夏休み期間中に阪急バス全線で乗り放題となる子ども用定期券を発売するほか、降車したバス停の頭文字を組み合わせてキーワードを作成し、ご応募いただいた方の中から抽選でプレゼントが当たる、バスのご利用が楽しくなる企画となっております。

いつものおでかけの合間でのご参加や、この機会に普段お使いにならないバス停をご利用いただくなど、皆さまのふるってのご利用、ご参加をお待ちしております。



1. キャンペーン期間

2024年7月20日（土）～ 2024年8月31日（土）

2. キャンペーンの趣旨

大阪・兵庫・京都と幅広いエリアを運行している当社をより身近に、より便利に感じていただけるよう、小学生以下のお子様対象のとももお得な定期券を発売し、加えて、ゲーム感覚でバスをご利用いただき、抽選でプレゼントが当たるお楽しみ企画を実施いたします。

3. 企画の概要

企画その1「夏休み子ども定期券」の発売

◆発売期間および有効期間

2024年7月20日（土）～2024年8月31日（土）まで

◆有効区間

阪急バス全線

※深夜バス・コミュニティバス等の一部路線では利用できません。

◆乗車券の種類

小児全線定期券（紙式）※降車時に乗務員にご呈示ください。

◆発売額

1,000 円



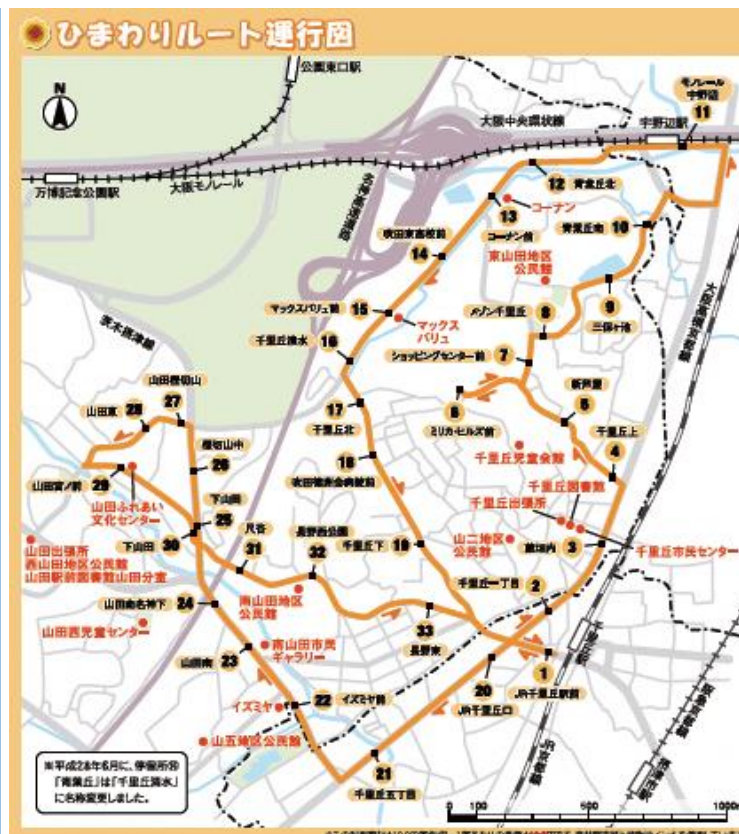
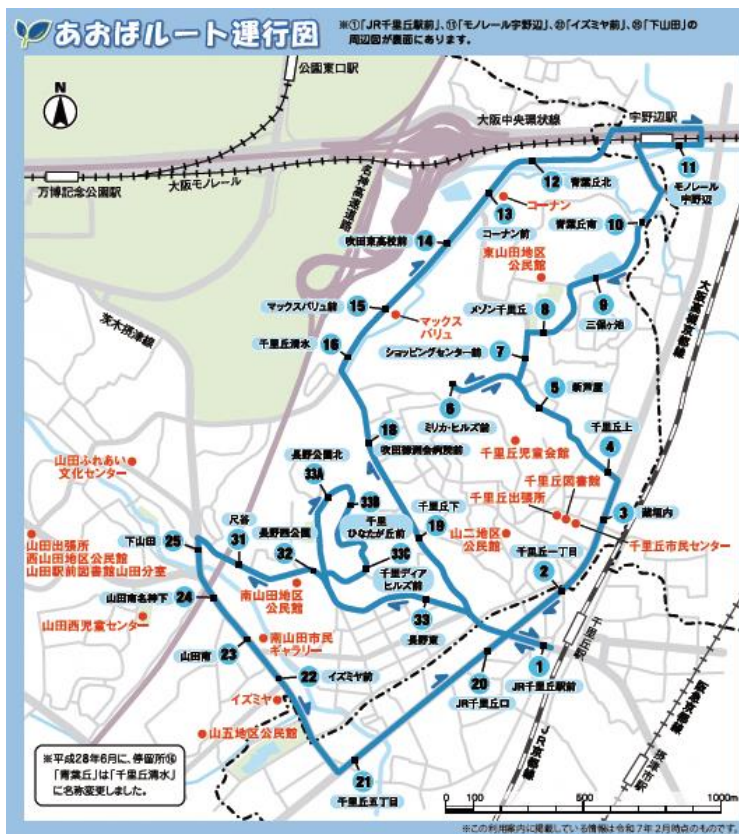
【事業5：バス路線の見直し】

すいすいバス たけのこルート（千里山地区） 本格運行の開始

令和4年2月から令和6年3月までの試験運行を経て、令和6年4月から本格運行に移行しました。
これにより本市では、鉄道や路線バスを補完するコミュニティバスが千里丘地区を運行する、
あおばルート、ひまわりルートと千里山地区を運行するたけのこルート、合わせて3ルート
となりました。

あおば・ひまわりルート（千里丘地区）：接続駅 モノレール宇野辺駅、JR千里丘駅

たけのこルート（千里山地区）：接続駅 阪急南千里・千里山、北急緑地公園駅



【事業6：交通結節点の機能向上】

鉄道、バス、タクシー相互乗換動線のバリアフリー化

大阪メトロ

- ・江坂駅エレベーター設置工事

鉄道駅におけるバリアフリールート確保、最短化、複数化のためのエレベーター設置等により、バス停留所及びタクシー乗降場までの相互の乗換え動線の更なるバリアフリー化を推進する。

令和7年3月末 供用開始



江坂駅EV 位置図

【事業 6：交通結節点の機能向上】

シェアサイクルの拡充

公共交通を補完する移動手段として、シェアサイクル事業の有効性や、既存路線バス、タクシー等の公共交通への影響及び役割分担、さらに自転車駐車場における利用状況の変化等を明らかにすることを目的として実証実験中。実証実験の結果を踏まえ、より一層公共性のある移動手段として位置付ける。令和3年度1月～令和6年度3月末 実証実験実施。

令和7年度より本格実施

	令和5年3月時点	令和6年3月時点	令和7年1月末時点
設置箇所数	60	68	85
ラック数	308	503	617

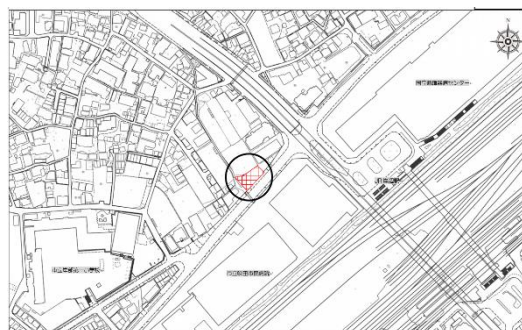


ステーションマップ（OpenStreet(株)HPから引用）

【事業6：交通結節点の機能向上】

自転車駐車場の整備推進

主要鉄道駅等におけるアクセス環境の充実を図るために、「自転車活用推進計画(R4.3策定)」により自転車駐車場が不足している駅において整備を推進。



JR 岸辺駅

岸辺駅前北口第2
自転車駐車場



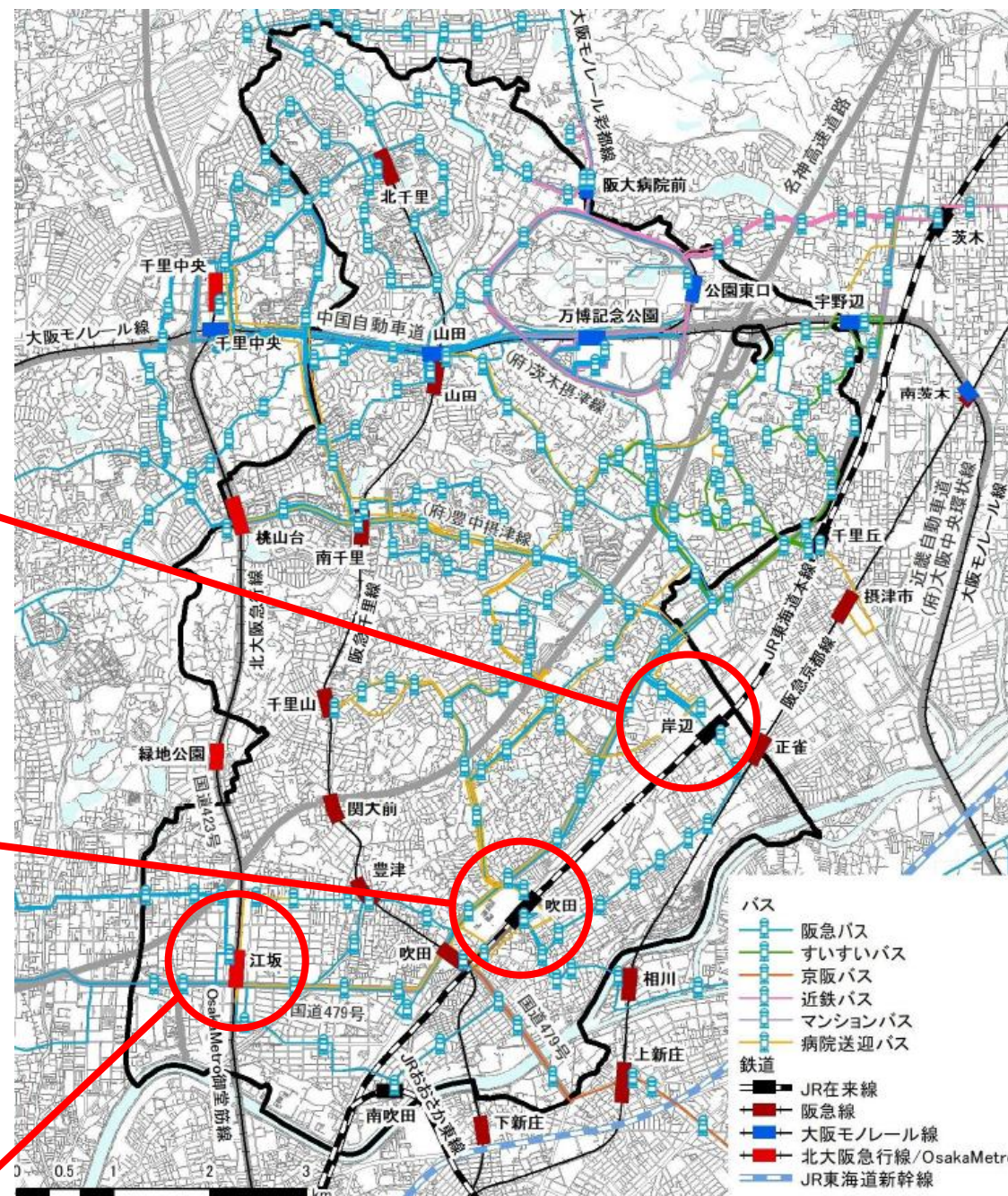
JR 吹田駅

JR吹田駅北第2
自転車駐車場



Osaka Metro 江坂駅

江坂駅前中央
自転車駐車場



吹田市の公共交通網図

【事業6：交通結節点の機能向上】

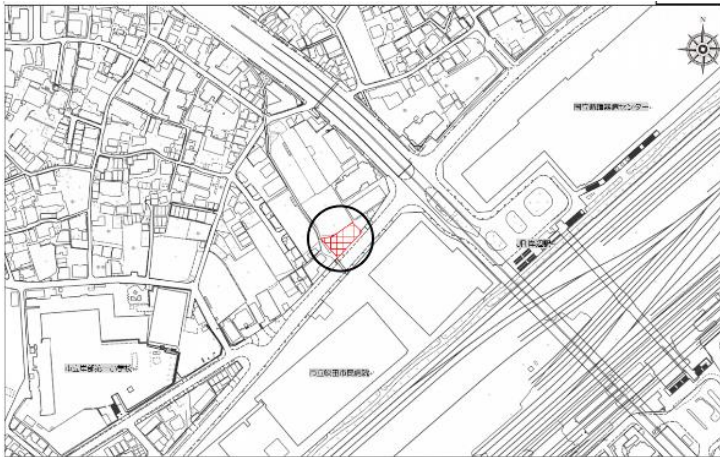
自転車駐輪場の整備推進



JR
吹田駅

JR吹田駅北第2自転車駐輪場（新設）

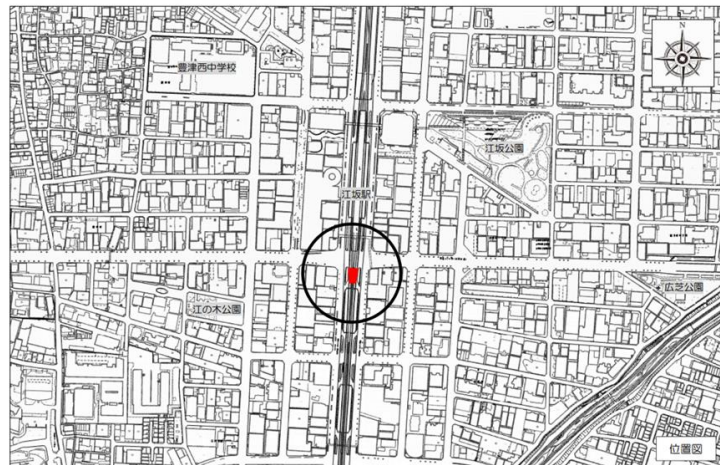
令和6年（2024年）4月1日 オープン
自転車313台、原付17台、小型自動二輪6台



JR
岸辺駅

岸辺駅北口第2自転車駐輪場(新設)

令和7年（2025年）3月1日 オープン
自転車250台



Osaka Metro
江坂駅

江坂駅前中央自転車駐輪場（増設）

令和7年（2025年）4月1日 オープン予定
自転車61台
全体収容可能台数：自転車3,131台、原付236台

地域コミュニティ交通導入ガイドラインの策定

令和6年（2024年）7月 策定。

地域が主体となり地域コミュニティ交通の導入を検討する際の役割分担や導入手順・支援内容等をまとめたもの。

地域コミュニティ交通導入ガイドライン

令和6年(2024年)7月

大阪府 吹田市

【地域コミュニティ交通導入ガイドライン骨子】

背景と目的

本市の公共交通は、鉄道、路線バス、タクシーで網羅されており一定実現しています。併せてこれらを補完するコミュニティバスの導入によりまとまった公共交通空白地域・不便地域は解消されていることから、現状においては、新たに市が主体となるコミュニティバス等の導入の予定はありません。しかしながら、交通環境は路線バス運転手の全国的な減少に加え、運転手の労働時間規制が強化される10月24年問題などにより、変化が予想されることとあります。

本市においては交通環境の変化への対応という将来的な課題に加え、現状、利用者数の低下から減便や廃止となったバス路線の周辺地域や道路事情によりバスの通行できない地域において、公共交通サービスの確保といった要望が挙げられているといった実態があり、そうした地域の一部において主体的に公共交通の導入検討や運営を考えているケースも見られます。

本市に限られた財源の中でこれらの地域において従来の公共交通と連携した新たな交通手段として、地域が発意し主体的に検討や運営を行う地域コミュニティ交通の導入支援を行います。

当該ガイドラインは、地域が主体となり地域コミュニティ交通の導入を検討する際の導入手順・支援内容等を整理するものです。

本市の考え方

本市においては、市域を網羅した形で公共交通サービスが構成されていますが、地域住民の利用が減少してしまえば、当然既存の公共交通サービスは衰退してしまい、交通空白地域（不便地域）が発生してしまいます。将来にわたり、自らの移動手段を確保・維持するには、地域住民が既存公共交通を積極的に活用していく意識が重要になります。

そのため、地域コミュニティ交通は、吹田市公共交通維持・改善計画（マスタープラン）に定めた各公共交通の役割分担と重複せずに、既存公共交通に重複するための限られた範囲内（小学校区程度）で運営するものになります。

また、本市はまとまった交通空白地域（不便地域）を解消し、地域住民の移動手段を将来にわたり維持・提供しつづけるため、すいすいバスの運行について財政支援を行っています。限られた財源の中で新たなサービスへの支援は厳しい現状です。そのため本市としては、地域コミュニティ交通の導入に際する支援は行いますが、地域コミュニティ交通導入後の運行に際する支援は行わないものとする。

なお、公共交通を取り巻く環境は、交通分野における最先端技術の活用やシェアリングサービスも踏まえ、今後大きく変化することが想定されます。当該ガイドラインは、変化する公共交通の実情を考慮し今後とも発展的に改訂していくものとします。

支援対象地域

地域コミュニティ交通は公共交通空白地域及び公共交通不便地域に居住する方々の移動手段確保を目的としていますので、ガイドラインに示す公共交通空白地域及び公共交通不便地域を、支援の対象地域の目安とします。

運行形態

地域コミュニティ交通は、既存公共交通では対応できない細やかなニーズに対応し、実状に応じた生活の足を担う、地域主体の公共交通です。導入を検討するにあたり、道路運送法において事業用に該当する、

集合事業（一般乗合旅客自動車運送事業）を基本とします。運行形態は、導入地域の利用実態に沿って設定してください。



役割分担

地域コミュニティ交通の導入を実現するには、地域住民・交通事業者・吹田市の3者がそれぞれの役割を果たし、互いに創出（連携・協働）して取り組むことが必要となります。

地域住民 使いやすい公共交通の形の継続的な検討及び主体的な運営

地域公共交通の導入に向けた発意、及び運営主体として責任をもって運行計画の検討や利用促進活動、地域組織を継続していくための取組を行います。



【地域コミュニティ交通導入ガイドライン骨子】

導入に向けた検討手順・本市の具体的な支援内容

地域コミュニティ交通の実現には、導入に向けた段階的な取り組みが必要になります。

【地域住民の検討手順】

1	発意から検討開始まで	Step1 課題意識の共有 Step2 地域組織の形成 Step3 移動ニーズ等調査 Step4 事業者ヒアリングの実施 Step5 地域公共交通協議会での意見聴取	【支援内容】 既存公共交通の運行事業者と、現行サービスの見直しが可能か協議
2	検討の開始	Step1 運行計画素案の作成 Step2 需要調査の実施 Step3 課題や目的の再確認	【支援内容】 公共交通に精通したコンサルタントや有識者を地域組織に派遣
3	運行計画(案)の作成	Step1 運行計画(案)の作成 Step2 市へ申請書を提出 Step3 地域公共交通協議会へ提案	【支援内容】 地域公共交通協議会へ提案
4	実証運行の実施 (2年を最大とする)	Step1 実証運行の準備 Step2 実証運行の実施	【支援内容】 実証実験に伴うインセンティブ及び収支の補填
5	本格運行の開始	Step1 本格運行の実施 Step2 継続的な活動及び利用促進	【支援内容】 運行経費の補填（※赤字の営業年度は事業廃止）

地域の発意から検討開始までの流れ

- ・地域組織を立ち上げる前に、地域が抱える交通問題の共有や検討・協議を行う場として自治会や有志による勉強会等の準備組織を作ります。
- ・地域組織の設立にあたっては、位置付けや役割、会員、運営方法等を検討し、必要な事項を会則等としてまとめましょう。
- ・設立された地域組織は、地域住民を対象としたアンケート調査により移動ニーズを確認し、既存の地域公共交通のサービス内容が、「地域の移動ニーズ」に合っているか、どの程度満足しているかを評価してください。また、並行して対象地域の道路幅員や交通規制、人口等の資料を確認しましょう。

実現性を踏まえた運行計画の検討

- ・ガイドラインに示す「運行サービス項目」を参考に、地域の移動実態に沿った運行計画を検討し、継続的な利用促進活動や地域住民の「乗って支える」といった意識醸成を図る取り組みをしましょう。

持続的な運行が可能となる条件の充足

- ・地域コミュニティ交通を導入して目標達成とするのではなく、将来にわたり持続的に運行することが重要となります。そのため、運行計画に基づき実証運行を行い、一定の条件を満足することを確認することが必要です。

運行サービス項目

運行計画を検討する際には、下記の運行サービス項目を参考にしてください。

項目	内容	項目	内容
運行形態	対象地域にお住まいの方の移動特性に応じた運行形態	停留所間隔	利用者の安全確保を第一とし、わかりやすさや運行車両・歩行者への影響の少なさを考慮し設置場所を設定
運行日	対象地域にお住まいの方の需要、利用実態に沿った運行日を設定	使用車両	運行形態、及び道路状況を確認し設定
運行時間帯	対象地域にお住まいの方の外出時間帯にあったサービス提供時間を設定	運行経路	・既存公共交通に影響を及ぼさないことを原則とし、既存公共交通のバス停、駅等と接続する。 ・使用車両が運行可能な道路を選択（車両幅 2倍＋車道幅員 50cmの確保） ・既存バス路線との競合はしない。 ・主要施設（駅、病院等）の立地及び営業時間を考慮する。
利用料金	利用想定数と運行経費に基づいた料金設定		

【事業8：公共交通の魅力の発信】

学校教育モビリティマネジメント（小学校）

モビリティマネジメントの一環として、バスに関する副教材資料を要望のある小学校に提供。
令和6年度は、市内小学校4校に提供。

校長先生／教頭先生(副校長先生)／ご担当先生

小学校副教材
未来クリエイター



小学4～6年生向け／社会科・総合・学活

公共交通について学ぶ副教材 無料進呈のご案内

※本企画は完全無料の教育事業です。配布後の営業、勧誘は一切ございません。

拝啓 貴校ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。

株式会社ソーシャルサービス学校教育支援部では、学校の教育活動をサポートするために、家庭での学習にも役立つ副教材を、テーマに即した企業・団体と連携して制作し、無料で配布する事業を展開しております。

今回は、地域の足として私たちの暮らしをささえる「路線バス」を通して、公共交通の大切さを学ぶ冊子を、阪急バス株式会社様のご協力で制作し、沿線の小学校限定で配布することになりました。詳しくは下記の冊子概要をご覧ください、ぜひお申込みいただければと存じます。

お申込みは、別紙の申込書に必要事項をご記入のうえ、FAXにてお願いいたします。なお、応募は先着順とさせていただきます。早めのご応募をお待ちしております。配布が確定した学校様には別途FAXにてお知らせいたします。

敬具



冊子概要 (B5判／16頁／カラー)

『くらしをささえるバス にどきどき』(仮)

■対象／4～6年生 ■お届け／2024年4月中旬以降 ■希望活用時期／到着後～7月下旬

私たちが生活している地域には、数多くのバス路線や鉄道網などがあります。一方で最近では、クルマの普及により公共交通を利用した経験がない小学生が増えてきています。

今回配布する冊子は、身近な公共交通である「バス」に焦点をあて、「地域の公共交通の役割・大切さ」を学ぶことができる内容です。バスが時代に合わせて社会の役に立つために進化してきた歴史や、環境や人にやさしくあるために、さらなる進化を続ける現状とこれからの技術に興味をもってもらいます。その後、過度なクルマの利用によるバスなどの公共交通が抱える問題を知っていき流れで、公共交通を利用することが、将来にわたって公共交通を維持することにつながることに気づくことができる副教材です。

公共交通の重要性や今後のあり方について考えを深め、家族にも交通行動について考えることを促すなど児童が考えることができるよう、写真やイラストを取り入れてわかりやすく丁寧にまとめています。是非、授業でご活用ください。

【目次予定】

●バスってこんなにべんり！ ●バスはこうして進化してきた

●まだまだ進化するバス ●バスにたずさわる人たち ●バスに乗って出かけよう！

◎阪急バスの広告

★「バスのあるくらし」絵画募集【2024年8月締切(予定)】

想像力を発揮して、思いを形にする場としてコンテストを開催

入賞者には賞品をご用意 ※冊子巻末に応募用紙付き

※応募は任意(児童・保護者のご判断でご応募ください) ※学校単位での応募も可能



▲絵画イメージ

小学校副教材
未来クリエイター



くらしを
ささえる

バス

に

どきどき

バスはみんなの味方!

みかた



もくじ

P2 バスってこんなにべんり！

P4 バスはこうして進化してきた

P6 まだまだ進化するバス

P8 バスにたずさわる人たち

P10 バスに乗って出かけよう！

ミラクリ
コンテスト

「バスのあるくらし」
絵画大募集!

応募のしかたは
14ページへ